授業科目名	体操(体つくり運動を含む)	授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)
担当教員名	北川　淳一・村田　憲亮			補助担当者名	村田憲亮
単位数	1　単位	履修年次	1年次	受け入れ人数	36
授業の概要	各種体操（リズム、トレーニング、手具、なわとび等）の体つくりや動きつくりについて実技指導を行い、運動を正しく合理的に行う理論と方法を理解させる。 体育指導者として、多くの種目での基本的な運動様式を身につけさせ、秩序正しく、安全に運動できる能力を養う。				

授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	ＤＰで目指す資質・能力	実技力、実技指導力	授業期間				定期試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	・基本的な動きの原理を理解できる。	○						10
	■情意的領域	・積極的な参加で、安全を留意した機敏な行動ができる。	○						10
	■技能的領域	・倒立歩行、マット、鉄棒、跳び箱運動等の基本的な動きができる。	○	○					80

成績評価の基準	・正確な運動への取組み等の授業態度と、出席状況、実技小テストを総合的に評価する。
テキスト、教材 参　考　書	・松延博・春山国広著「新しい男子の体操」 ・松延博・安藤幸著「新しい女子の体操」その他、必要に応じて資料を提供する。

履修条件・関連科目	・授業中ふざけると大怪我を伴う場合があるので、まじめに受講出来る学生が条件。	備考(教員メッセージ含む)	本講義では、学生への教育的効果を高めるために、授業実施の様子をビデオカメラ等で撮影することがある。なお、撮影した映像は、原則として学内での教育・研究活動にのみ使用する。
オフィス・アワー	・706教官室，810教官室（内線4976，4969）にて随時（但し，事前に申し出ること）		

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	北川　淳一 村田　憲亮	オリエンテーション（体操の概論）及び実技	
2	〃	ラジオ体操、徒手体操及び小テスト	
3	〃	スポーツの技能を高める体操（マット運動）	体操練習室にて練習可
4	〃	スポーツの技能を高める体操（鉄棒）	体操練習室にて練習可
5	〃	スポーツの技能を高める体操（とび箱）	体操練習室にて練習可
6	〃	各種の手具や用具を用いた体操（ボール）	
7	〃	各種の手具や用具を用いた体操（棒、輪）	
8	〃	ミニトランポリン運動（開脚跳び、ひねり跳び、前方宙返り）	
9	〃	長なわとび運動（基本技術の説明及び練習）	体操練習室にて練習可
10	北川　淳一	長なわとび運動（応用技術の説明及び練習）	体操練習室にて練習可
11	〃	短なわとび運動（各種跳び方の説明及び練習）	体操練習室にて練習可
12	〃	短なわとび運動（側回旋交差跳び、多回旋跳び）の練習及び小テスト	体操練習室にて練習可
13	〃	短なわとび運動（総合練習）の練習及び小テスト	体操練習室にて練習可
14	〃	総練習（鉄棒、マット、とび箱、短なわとび）の練習及び小テスト	体操練習室にて練習可
15	〃	総練習（鉄棒、マット、とび箱、短なわとび）の練習及び小テスト	体操練習室にて練習可